令和4年(2022年)度 年間授業計画(シラバス)												
学年	1	学科		国際ビジネス 情報ビジネス	単位	1	教科	保健・体 ⁼	育	科目	保健	
学	学習教材		- 小学 - 小学 - - - - - - - - - - - - - - -									
・「現代高等保健体育ノート」大修館書店												
1 単元 現代社会と健康												
1 学期 2 学期	学				・健康の考え方や健康を成り立たせている要因について理解する。 ・わが国の健康水準の変化とその背景、現在の健康問題について理解する。 ・生活習慣病の種類と要因、その予防法について理解する。 ・がんの種類や原因、その予防法について理解する。 ・がんの主な治療法や、がんに対する社会的対策について理解する。 ・健康と運動の関係を理解し、目的に応じた健康的な運動の仕方を理解する。 ・健康と食事の関係を理解し、健康的な食事のとり方について理解する。 ・健康と休養の関係や、健康によい睡眠のとり方について理解する。 ・喫煙の害や喫煙対策について理解する。 ・薬物乱用の影響やその対策について理解する。 ・精神疾患の要因や課題について理解する。 ・精神疾患の夢因や課題について理解する。 ・精神疾患の一方法や早期発見について必要なことについて理解する。 ・精神疾患の適切な治療や回復に必要な社会環境について理解する。 ・感染症の潜伏期間や感染力、感染症の種類について理解する。 ・感染症の潜伏期間や感染力、感染症の種類について理解する。 ・感染症・エイズの特徴や予防と対策について理解する。 ・性感染症・エイズの特徴や予防と対策について理解する。 ・健康に関する適切な意思決定・行動選択の工夫について理解する。 ・社会環境が健康に及ぼす影響やヘルスプロモーションの考え方を理解する。							
	2単元 多	安全な社会生活										
3 学期	01 事故の現状と発生要因02 安全な社会の形成03 交通における安全04 応急手当の意義とその基本05 日常的な応急手当06 心肺蘇生法			・安全の・交通事・応急手・日常的	 ・事故の実態や被害の実態およびその要因について理解する。 ・安全のために必要な個人の行動や環境整備について理解する。 ・交通事故の防止に向けた対策やその責任について理解する。 ・応急手当の意義や手順について理解する。 ・日常的な応急手当の手順や方法について理解し、実践する。 ・心肺蘇生法の手順や方法について理解し、実践する。 							
評価												
50 /m o /m =									評価の	フィード	バック	
評価の観 		点	到達度	到達度目標 [「B」(おおむね満足できる) の規準]						2期末	学年末	
1	知識・技能				夏および安全な社会生活の構築についての基本的事項 応急手当や心肺蘇生に関する技能を習得する。					0	0	
2	3 - 1 1 1 1 - 1 1 1 1 1 1 1				iおよび安全な社会生活の構築について、自分の生活 cの方法を思考し判断しているとともに、それらを表					0	0	
3	主体的に学習に取 り組む態度 現代社会の健康問題 的に取り組もうとして				および安全な社会生活の構築についての学習に主体いる。				0	0	0	
評	Ţ Û				2				3			
価方法	② 副教材			⑦ 定期考3 ① 副教材 ⑦ グルー2								